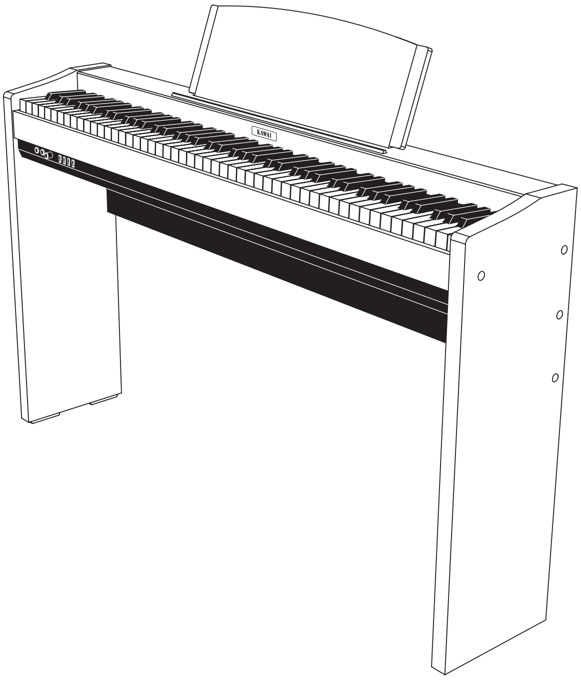
◆当商品をご使用になる前に必ず本取扱説明書を
よくお読みください。

KAWAI

DIGITAL PIANO
PE 3



●付属品
□ACアダプター（PS-125Ｄ）
□譜面立て
□フットペダル（F-1M）
□ファンクションシール
□取扱説明書（本書）
□本体の組み立て方
□保証書
□ご愛用者カード
□アフターサービスと音楽教室のご案内
□「コンサートマジック曲集」のご案内
□「コンサートマジック曲集」払込取扱票
（全て各 1部）

《ごあいさつ》

このたびは、カワイデジタルピアノPE3をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本機は、奥行き２７cm弱というコンパクト設計ながら、弊社のコンサートグランドピアノＥＸをベースとしたピアノ音色など全８音色を持ち、リアルなピアノタッチを実現する鍵盤機構と併せて、本格的な演奏をお楽しみいただけます。また、コンサートマジックなど多彩な機能を搭載しています。
本機をご活用いただくと共に、末永くご利用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さいますようお願い申し上げます。

目次

◆安全上の注意 2
各部の名称と働き 4
　付属のファンクションシールの使用 4
　ACアダプター/ペダル/ヘッドホンの接続 5
演奏してみましょう 6
　電源を入れて音を出す 6
　音色を変える 6
　デュアル演奏 7
メトロノーム 8
　拍子を選ぶ 8
　テンポを変える 8
エチュード（練習曲） 9
　練習曲を聴く 9
　練習曲全部を聴く 9
コンサートマジック 10
　コンサートマジック曲を選ぶ 10
　コンサートマジック曲の演奏 10
　コンサートマジック曲を聴く 11
　その他の再生方法 11
音色デモ曲 12
　デモ曲を聴く 12
　デモ曲を選ぶ 12
設定モード（ファンクション） 13
　設定モードの基本的な使い方 13
　①タッチを変える 14
　②トランスポーズ 14
　③チューニング 14
　④リバーブ（残響） 15
　⑤コンサートマジックの演奏モードを切り換える 15
　MIDIとは？ 16
　⑥MIDI送信・受信チャンネル 16
　⑦ローカルコントロール 16
　⑧マルチティンバー・モード 17
　⑨プログラム（音色）ナンバー 17
付　録 18
　MIDI IMPLEMENTATION CHART 18
　本体の組み立てかた 19
　主な仕様 20

◆安全上の注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

このマークは、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

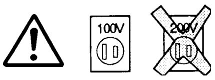
△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う



100V以外禁止

●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない

●感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける,かける,こぼす）などしない

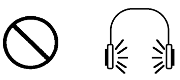
●漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機の上に乗ったり倒したりしない

落とさない

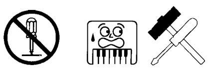
●運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない


長時間使用禁止

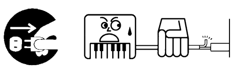
●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない


分解禁止

●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く


プラグ部分を持つ

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

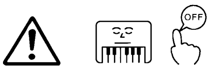
⚠注意

◆本機を次のような所では使用しない
●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

使用禁止

●故障の原因になります。

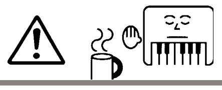
◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う



電源を切る

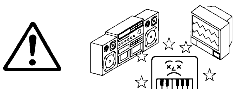
●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする


異物を入れない

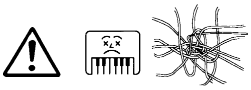
●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない


他電気機器から離す

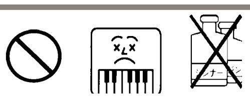
●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類はからまないように接続する


からまないようにする

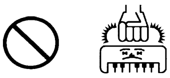
●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない


ベンジン／シンナー禁止

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機や鍵盤の上に乗ったり、圧力を加えない、物を置かない


上に乗らない

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。
●熱いコップ等をのせると、鍵盤蓋が変形することがあります。

◆本機はハンマーアクション鍵盤を搭載しているため、特に次の点に注意してください。

●鍵盤の上に長期間重い物を置かない
●鍵盤に通常の演奏以上の負荷をかけない

●鍵盤の演奏に影響を与えます。
●故障の原因になります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●容易にコンセントの抜き差しができるよう、本機を電源コンセントの近くに設置してください。

●音色ボタンランプが消えていても、コンセントを差し込んだ状態であれば、機器に電源がつながっていますので感電に注意ください。

●地震等の際、転倒する可能性があります。市販の転倒防止金具等で転倒には充分注意して下さい。

●付属の AC アダプター以外は使用しないで下さい。

■保証書について

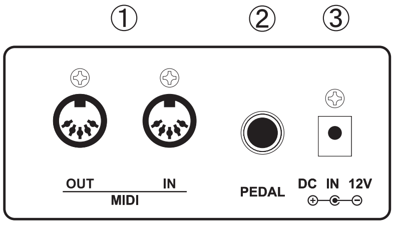
●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

■修理について

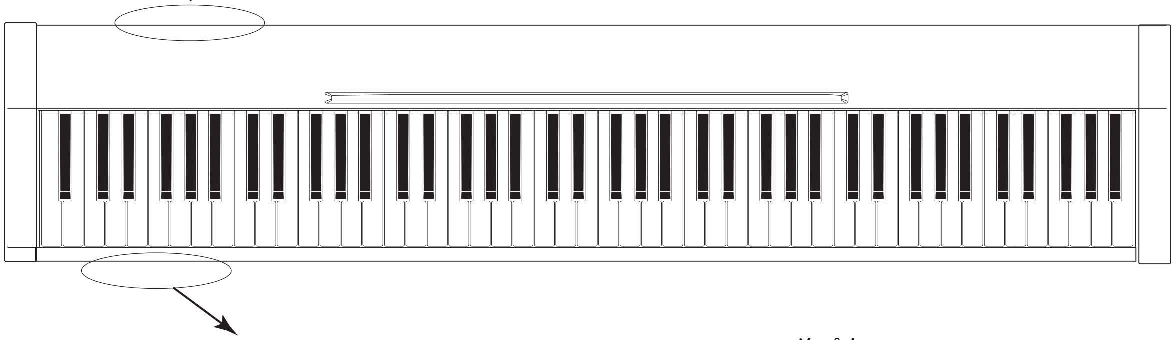
●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

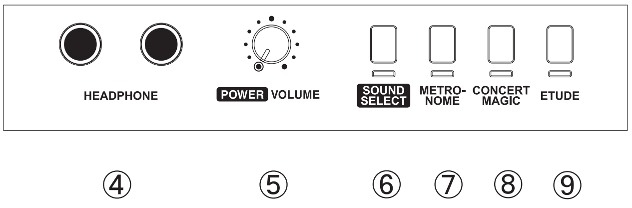
各部の名称と働き



後パネル

①ＭＩＤＩ　ＩＮ／ＯＵＴ端子
②ペダル(PEDAL)端子
③ＡＣアダプター(DC IN 12V)端子



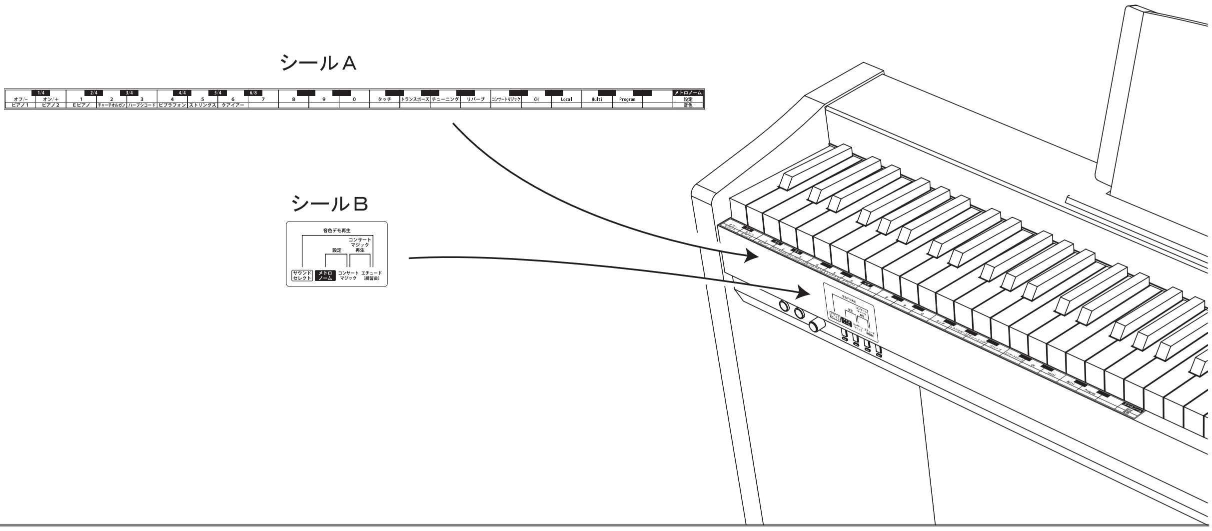


前パネル

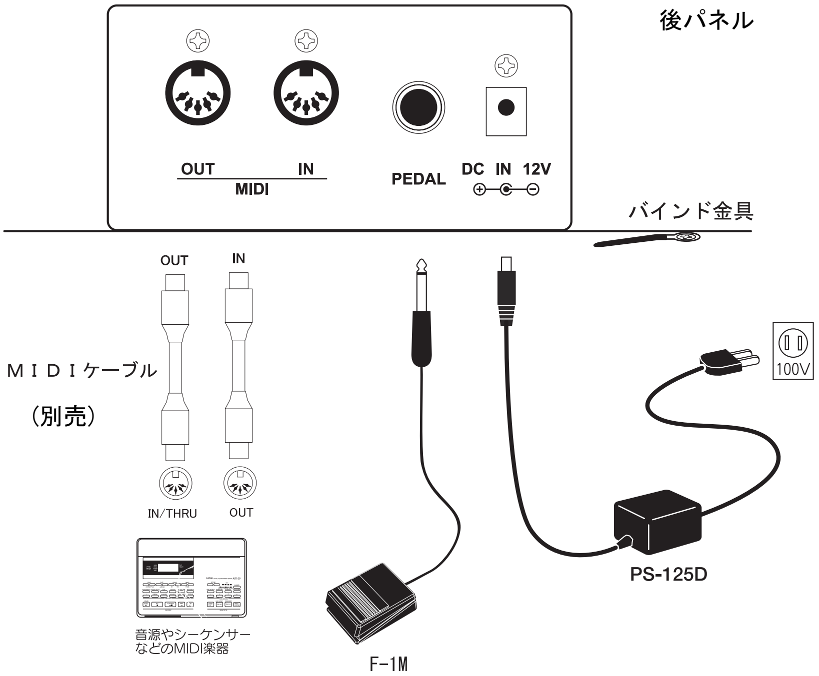
④ヘッドホン(HEADPHONE)端子
⑤電源スイッチ付きボリューム(VOLUME)
⑥音色選択(SOUND SELECT)ボタン
⑦メトロノーム(METRONOME)ボタン
⑧コンサートマジック(CONCERT MAGIC)ボタン
⑨練習曲(ETUDE)ボタン

付属のファンクションシールの使用

ファンクションシールが２つ付属されています。このシールを貼り付けておくと、各種の設定なども便利です。
細長い「シールＡ」は、鍵盤手前に左端を合わせて貼ってください。
「シールＢ」は操作ボタンの上側に、ボタンとの位置が合うように貼ってください。
このシールは何度でも貼れます。



ACアダプター、ペダルの接続



⚠ 注意　コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う。

●ＭＩＤＩ

他のＭＩＤＩ機器と接続するには
ＭＩＤＩケーブルを使います。
本機のＯＵＴと相手のＩＮ、
本機のＩＮを相手のＯＵＴへ
接続します。

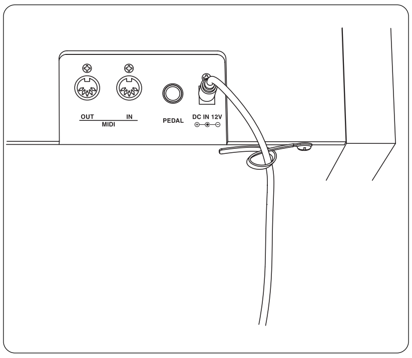
●ペダル

付属のペダル（Ｆ－１Ｍ）をペダル(PEDAL)端子に接続します。
踏むと音に余韻を与えるダンパー効果が得られます。

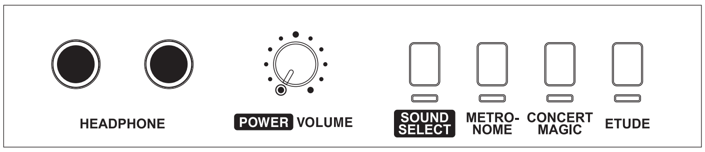
オプションのF2-r（２本ペダル）を接続すると、ダンパー効果に加えて、音質をやわらかくするソフト効果が得られます。

●ＡＣアダプター

付属のＡＣアダプター（PS-125D)をＡＣアダプター端子（DC IN 12V)に接続します。
ＡＣアダプターケーブルをバインド金具で巻いて止めると抜けにくくなります。



ヘッドホンの接続



前パネル

←プラグ

●ヘッドホン

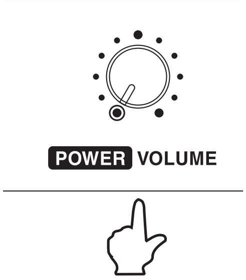
ヘッドホンをヘッドホン(HEADPHONE)端子に接続します。
接続すると本機のスピーカーから音は出なくなり、周囲に気がねなく演奏できます。
２つまで接続できますので、お友達同士など２人で楽しめます。

⚠ 注意　ヘッドホン端子に差した時、コードを引張ったりプラグに体が当る等して無理な力が加わらない様注意ください。故障の原因になります。

演奏してみましょう

電源を入れて音を出す

ボリューム(VOLUME)つまみは電源スイッチを兼ねています。



◇ 操作

ボリュームつまみを右に回して、電源を入れます。

電源を入れるとサウンドセレクト(SOUND SELECT)ボタンのランプが点灯します。

ボリュームつまみを、右に回して音量を調整します。

真上（１２時の位置）くらいにセットします。
この状態でピアノ１の音色で演奏をすることができます。

◇ 操作

電源を切る時は、ボリュームつまみを左にカチッとクリックがある所まで回します。

ランプが消灯します。

> ⚠ 注意　長時間使用しない時は、必ず電源プラグを抜いてください。故障の原因になります。

音色を変える

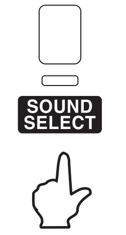
音色の選び方は、次の３通りがあります。
内蔵音色は８音色です。電源ON時はピアノ１が選ばれています。

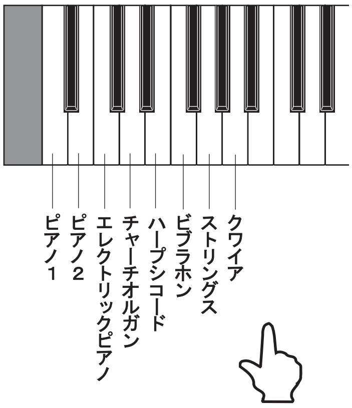
◆音色の選び方　1

◇ 操作

サウンドセレクトボタンを押しながら、左から８つの白鍵を押して選択します（右図参照）。

ピアノ１を選択すると、ランプが点灯します。
それ以外では、ランプは点滅します。

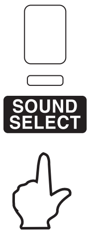




◆音色の選び方　2

◇ 操作

サウンドセレクトボタンを押すごとに、内蔵音色を順に選択することができます。



→ピアノ１→ピアノ２→エレクトリックピアノ→チャーチオルガン→ハープシコード→ビブラホン→ストリングス→クワイア→（ピアノ１へ戻る）

◆音色の選び方　3

◇ 操作

サウンドセレクトボタンを１秒以上押しつづけると、
どんな音色が選ばれていても、ピアノ１に戻ります。

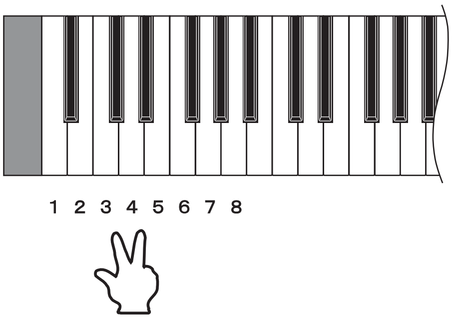
ランプも点灯に戻ります。

デュアル演奏

デュアル演奏では ２つの音色を重ね合わせて演奏する事ができます。鍵盤を弾くと、選んだ２つの音色を
同時に発音することができ、音に独特の厚みを与えることができ音楽表現の幅が拡がります。

◇ 操作

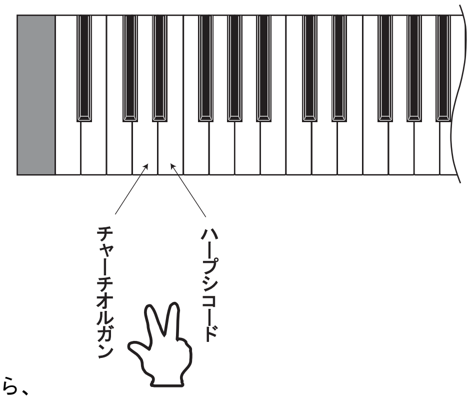
サウンドセレクトボタンを押しながら、左から８つの白鍵のうち、２つを同時に押すと、
鍵盤に割り当てられた２つの音色を重ねることができます。（音色は前のページ参照）



◆チャーチオルガンとハープシコードを重ねる場合

◇ 操作

サウンドセレクトボタンを押しながら、
左から４番目（レ）と５番目の（ミ）を同時に押します。



１つの音色に戻す場合は、サウンドセレクトボタンを押しながら、
鍵盤を１つだけ押して１つの音色を選び直します。

メトロノーム(METRONOME)

メトロノームを使って練習しましょう。

◇ 操作

メトロノーム(METRONOME)ボタンを押すと、メトロノームが鳴ります。

再度、メトロノームボタンを押して消灯させると、メトロノームが停止します。

■ 電源オン時は、1/4拍子，テンポ120の設定になります。

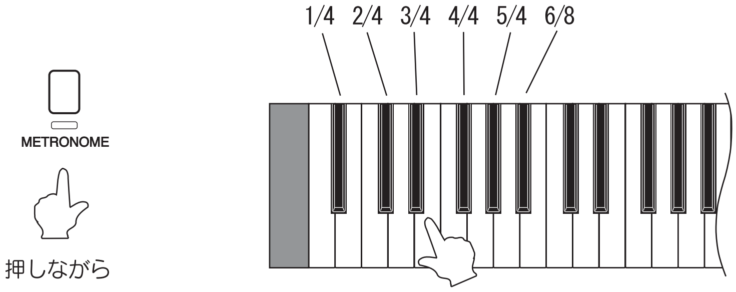
拍子を選ぶ

1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/8の拍子が設定できます。

◇ 操作

メトロノームボタンを押しながら、左から６つの黒鍵のいずれかを押して、

拍子を指定します。



■ 4/4拍子を指定する場合は、左から４番目の黒鍵を押します。

■ 1/4拍子選択時には、アクセント（チーン音）が無いクリック音だけになります。

テンポを変える

♩= 30～300の範囲で設定できます。

120などのテンポ値を直接設定する方法と、現在のテンポを少しずつ上げたり下げたりする２つの方法があります。

◇ 操作

メトロノームボタンを押しながら、鍵盤を押してメトロノームのテンポ指定を行います。

設定は、テンポの値を2桁～3桁で入力します。

◆テンポを「136」に設定したい場合

◇ 操作1

メトロノームのボタンを押しながら、

「1」「3」「6」の鍵盤を押します。

◇ 操作2

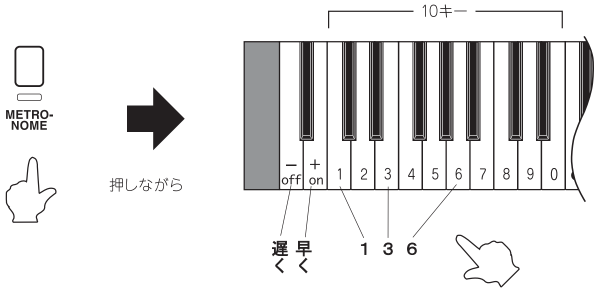
メトロノームのボタンを押しながら、

鍵盤のー（off）／＋（on）キーを

くり返し押すことで、現在の

テンポから少しずつテンポを調整

することができます。

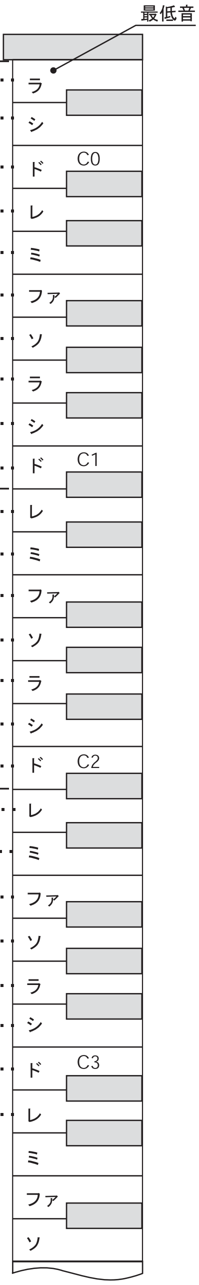


付属のファンクションシールを使うと便利です。　（P.4参照）

練習曲(エチュード)

ピアノ練習曲で有名な”ブルクミュラー２５の練習曲”全25曲が内蔵されています。模範演奏として練習にご活用頂けます。

1. すなおな心……………… ラ
2. アラベスク……………… シ
3. パストラール…………… ド
4. こどものパーティー……… レ
5. むじゃき………………… ミ
6. 前進……………………… ファ
7. 静かな小川の流れ……… ソ
8. 優美……………………… ラ
9. 狩り……………………… シ
10. やさしい花……………… ド
11. せきれい………………… レ
12. 別れ……………………… ミ
13. なぐさめ………………… ファ
14. シュタイヤ地方のおどり… ソ
15. バラード………………… ラ
16. かわいいなげき………… シ
17. おしゃべりな人………… ド
18. 不安……………………… レ
19. アベマリア……………… ミ
20. タランテラ……………… ファ
21. 天使たちの歌声………… ソ
22. 舟歌……………………… ラ
23. 家に帰って……………… シ
24. つばめ…………………… ド
25. お嬢様の乗馬…………… レ



練習曲を聴く

25の練習曲は、鍵盤（白鍵）に割り当てられており（左図参照)、この鍵盤を使って曲を選択し、再生することができます。

◇ 操作１

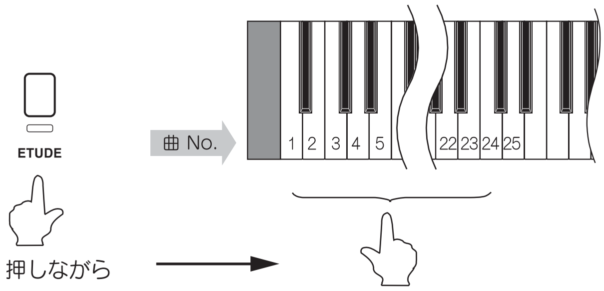
エチュード(ETUDE)ボタンを押しながら、

曲が割り当てられている鍵盤を押します。

ボタンを離すと選択した曲が繰返し再生されます。

◇ 操作２

演奏を止めるには、再度エチュードボタンを押します。



練習曲全部を聴く

◇ 操作１（チェーン再生)

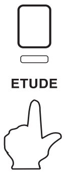
エチュードボタンを押し、

選曲しないでエチュードボタンを離すと、

１曲目から２５曲目まで順番に再生されます。

◇ 操作２

演奏を止めるには、再度エチュードボタンを押します。



■内蔵の”ブルクミュラー２５の練習曲”はカワイ出版刊「ブルクミュラー２５の練習曲」(630円＜税込＞）に対応しております。

コンサート マジック（CONCERT MAGIC）

最低音

曲	鍵盤	グループ
1. きらきら星	ラ	●子供の曲
2. ロンドン橋	シ	
3. ふるさと	ド C0	
4. 山の音楽家	レ	
5. もみじ	ミ	
6. ゆき	ファ	
7. 10人のインディアン	ソ	
8. さくらさくら	ラ	
9. わらの中の七面鳥	シ	
10. 森のくまさん	ド C1	
11. 聖者の行進	レ	● アメリカのクラシック音楽
12. おじいさんの古時計	ミ	
13. リパブリック賛歌	ファ	
14. ロンドンデリーの歌	ソ	
15. ケンタッキーの我が家	ラ	
16. 草競馬	シ	
17. 線路は続くよどこまでも	ド C2	
18. ウィリアムテル序曲	レ	● クラシック音楽
19. 天国と地獄	ミ	
20. エンターティナー	ファ	
21. 花のワルツ	ソ	
22. スケーターズワルツ	ラ	
23. 闘牛士の歌	シ	
24. ブラームスの子守歌	ド C3	
25. アメリカンパトロール	レ	
26. 眠りの森の美女	ミ	
27. ガボット	ファ	
28. 軍隊行進曲	ソ	
29. 双頭のわしの旗のもとに	ラ	
30. エリーゼのために	シ	
31. 結婚行進曲	ド C4	
32. 婚礼の合唱	レ	
33. おめでとうクリスマス	ミ	● クリスマスの曲
34. ジングルベル	ファ	
35. もろ人こぞりて	ソ	
36. きよしこの夜	ラ	
37. フニクリフニクラ	シ	● 世界の民謡
38. こぎつね	ド C5	
39. アニーローリー	レ	
40. サンタルチア	ミ	
	ファ	

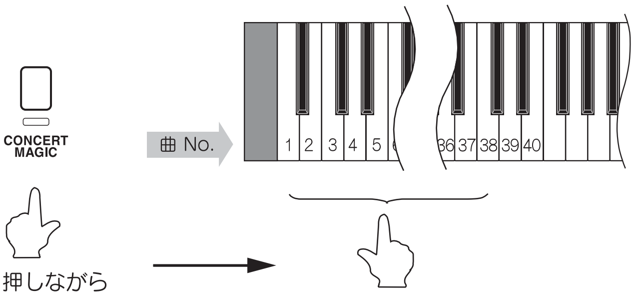
コンサートマジックでは、どこの鍵盤を押しても曲の演奏ができます。誰にでも、（高度な曲が弾けない人にも）鍵盤を使って演奏を楽しむことができます。
演奏方法には２通りあります。（右ページ参照）
コンサートマジック用に5グループ，40曲を内蔵しています。

コンサート マジック曲を選ぶ

40曲のコンサートマジック曲は、鍵盤（白鍵）に割り当てられており（左図参照）、この鍵盤を使って曲を選択します。

◇ 操作

コンサートマジック（CONCERT　MAGIC）ボタンを押しながら曲が割り当てられている鍵盤を押します。



コンサート マジック曲の演奏

指揮者のタクトのように拍子をとって鍵盤をたたけば演奏を進めることができます。 鍵盤を弾くタッチによって強弱もつけることもできます。

◇ 操作

鍵盤を弾きます。

■ 通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

■ これらの曲を掲載した楽譜集「コンサートマジック曲集Vol.2」(2,600円〈税込〉）を発売しております。楽譜掲載88曲中に、これらの40曲が全て含まれています。詳細は同封の「楽譜集のご案内」をご参照ください。お申し込みは同封の払込用紙をご利用いただけます。コンサートマジックの魅力的な世界が一層広がります。

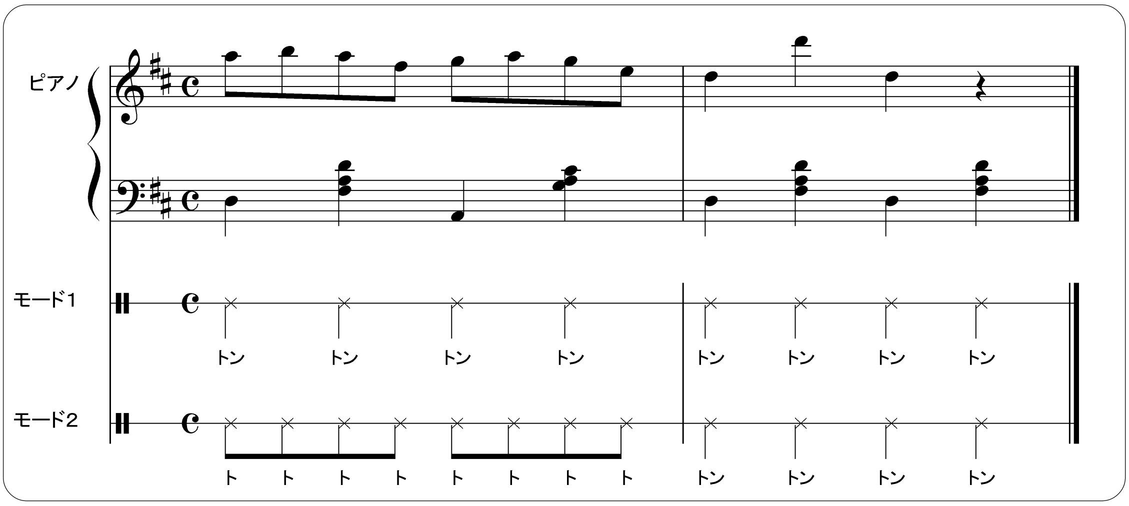
コンサートマジックの２通りの演奏方法について

モード１：　メロディーに関係なく、等間隔に鍵盤をたたいて曲を進めます。たたく間隔で曲の速さが決まります。電源オン時のモード。

モード２：　曲の音符通りに鍵盤をたたいて曲を進めます。モード１より難しいですが、１音１音にタイミングの変化をつけることができます。

・ 両モード共、鍵盤のたたく強さで音の強弱がつきますので、表情豊かな演奏ができます。
・ モード１，２の切り替えは、設定モードで(P.15参照)できます 。

例：27.ガボット

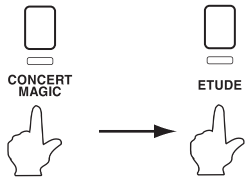


コンサート マジック曲を聴く

コンサートマジック曲は、模範演奏、鑑賞用として聴く事ができます。

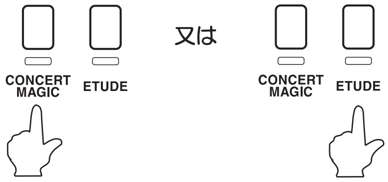
◇ 操作１

コンサートマジックボタンを押した後、エチュードボタンを押すと選択されている曲が繰返し再生されます。



◇ 操作２

演奏を止めるには、コンサートマジックボタン又はエチュードボタンを押します。



その他の再生方法（ チェイン再生 / グループ再生）

◇ 操作　チェイン再生

コンサートマジックボタンを押しながら、曲選択をせずにエチュードボタンを押します。

１曲目から40曲目まで順番に繰り返し再生します。

◇ 操作　グループ再生

コンサートマジックボタンを押しながら鍵盤を押して選曲し、そのまま（コンサートマジックボタンを離さないで）エチュードボタンを押します。

この場合、選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。
例えば、No.11の「聖者の行進」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.11～No.17のグループ「アメリカのクラシック音楽」を繰り返し再生します。

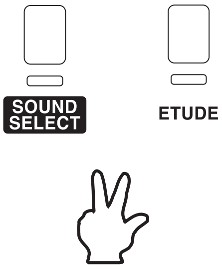
音色デモ曲

音色毎にその音色を生かしたデモ曲（ピアノ１の音色デモを６曲、他の音色は各１曲）を13曲内蔵しています。
各音色のデモ曲は、以下の通りです。

● ピアノ1	:幻想即興曲/ショパン	● ピアノ2	:オリジナル
	アラベスク第一番/ドビュッシー	● エレクトリックピアノ	:オリジナル
	トルコ行進曲/モーツァルト	● チャーチオルガン	:トッカータ/ジグー
	エリーゼのために/ベートーベン	● ハープシコード	:フランス組曲第6番/バッハ
	別れの曲/ショパン	● ビブラホン	:オリジナル
	花の歌/ランゲ	● ストリングス	:四季より「春」/ヴィヴァルディ
		● クワイア	:オリジナル

デモ曲を聴く

◇ 操作



サウンドセレクトボタンを押しながらエチュードボタンを押すと、ピアノ１音色のデモ曲が演奏されます。

演奏を止めるには、サウンドセレクトボタンを押します。

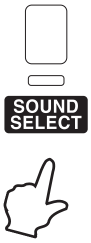
演奏を止めなければ、ピアノ１の７曲のデモ曲の演奏を含む、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。

デモ曲を選ぶ

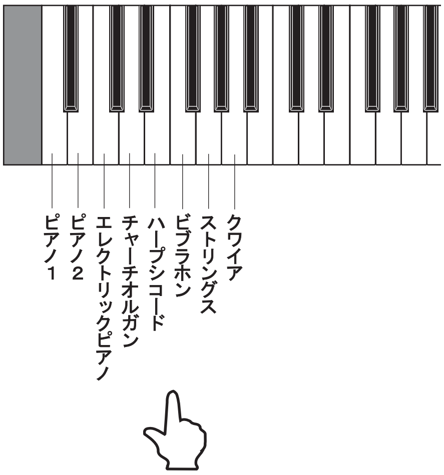
◇ 操作

デモ曲演奏中、音色を選択すると（前頁の音色の選び方参照）デモ曲も同時に変わります。

ピアノ１のデモ曲は６曲内蔵しており、順に再生されますが、サウンドセレクトボタンを押しながら、最低音の鍵盤（ピアノ 1）を繰り返し押すことにより、６曲中の次の曲にジャンプすることができます。



押しながら



白鍵を押します。

設定モード（ファンクション）

ピアノ演奏を楽しむための設定を変えることができます。

設定モードの基本的な使い方

◇ 設定モードに入り、設定項目を選びます。

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら（設定中は常に押し続けます）、設定したい項目①～⑨の鍵盤を押して設定項目を選びます。

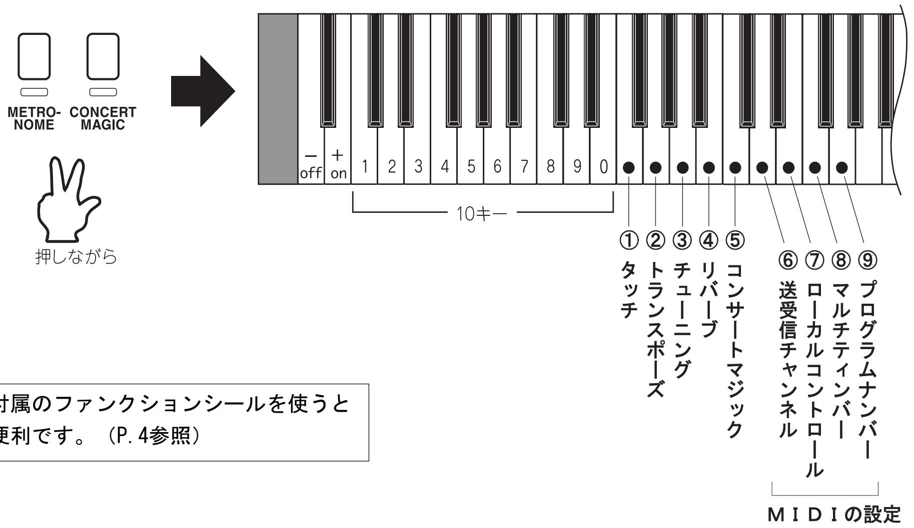
注）コンサートマジックボタンまたはエチュードボタン点灯中は設定モードに入れません。

◇ 設定します。

鍵盤に割り当てられている10キー、もしくはー（off）/＋（on）キーで値を入力します。

◇ 設定モードから抜けます。

押し続けたメトロノームボタンとコンサートマジックボタンを離します。



付属のファンクションシールを使うと便利です。（P.4参照）

■電源を入れたときは、ここで設定した値はリセットされ、自動的に下記初期値に設定されます。

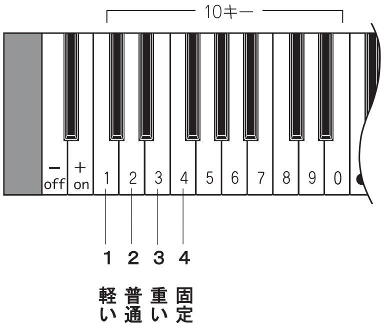
●設定項目	●初期値
① タッチ（鍵盤を弾く強さ）	普通
② トランスポーズ（鍵盤の調）	０
③ チューニング（本体のピッチ）	A4=440.0Hz
④ リバーブ（残響）	オン
⑤ コンサートマジック演奏方法	モード１
⑥ MIDI 送受信チャンネル	１ｃｈ
⑦ ローカルコントロール	オン
⑧ マルチティンバーモード	オフ
⑨ プログラム（音色）ナンバー	オン

①タッチを変える

鍵盤を弾く強さを変更できます。指の強さ、お好みに合わせて、4種類のなかから選択できます。

◇ 操作

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら
①の鍵盤（P.13参照）を押し、次に１０キーの１～４で
設定します。



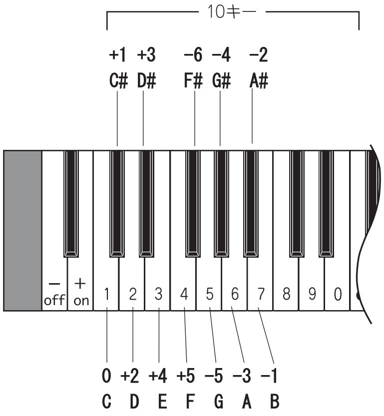
１　軽い　　弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
２　普通　　生ピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
３　重い　　強いタッチで弾かないと大きな音がでません。
４　固定　　鍵盤を弾く強さに関係なく常に一定の大きさで発音します。

②トランスポーズ

半音単位で移調できます。

◇ 操作

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら
②の鍵盤（P.13参照）を押し、次に１０キー域の
鍵盤（右図）で好みの高さのキーを設定します。



③チューニング

チューニング調整は、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。
４４２Ｈｚ等と周波数を設定する方法と、他の楽器の音に合わせて上げたり下げたりする２つの方法があります。
電源を入れた時は、A4=440Hzに設定されます。0.5Hz単位で設定できます。

◇ 操作1

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら
③の鍵盤（P.13参照）を押し、１０キーで周波数を設定します。

例えば、「A4=441.5Hz」に設定する場合鍵盤「4」「4」「1」を押し、さらに「＋」を押します。
もしくは、鍵盤「4」「4」「2」を押し、さらに「－」を押します。
427～453Hzの範囲で設定できます。

◇ 操作２

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら
③の鍵盤（P.13参照）を押し、－（off）/＋（on）キーで上げたり下げたりします。

この操作では、0.5Hz刻みで値が変更できます。

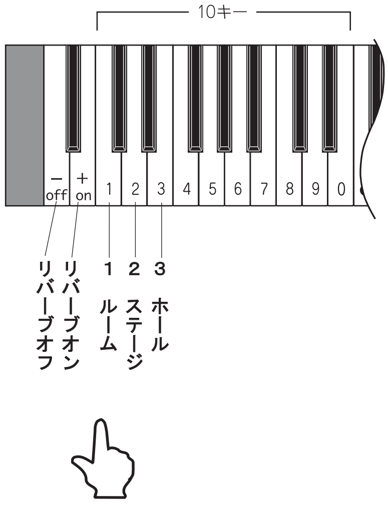
④リバーブ（残 響 ）

各音色毎に下記２つが設定できます。
・リバーブ効果を付加する（オン）、付加しない（オフ）
・リバーブ効果の種類を変える、3 段階（ルーム、ステージ、ホール）

◇ 操作 1

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら
④の鍵盤（P. 13 参照）を押し、鍵盤上のー（off）/＋（on）キーで
オンオフを設定します。

ー（off）　：　オフ（残響なし）
＋（on）　：　オン（残響あり）



◇ 操作２

鍵盤上の 10 キーでタイプを設定します。

１：ルーム　部屋で弾いているような響きです。
２：ステージ　ステージで弾いているような響きです。
３：ホール　ホールで弾いているような響きです。

＊ルーム→ステージ→ホールの順で残響音が長くなります。

⑤コンサートマジックの演奏モードを切り換える

コンサートマジックは 2 通りの演奏方法でを楽しむことができます。(P. 10, 11 参照)

モード１：　メロディーに関係なく、等間隔に鍵盤をたたいて曲を進めます。たたく間隔で曲の速さが決まります。電源オン時のモード。
モード２：　曲の音符通りに鍵盤をたたいて曲を進めます。モード１より難しいですが、1 音 1 音にタイミングの変化をつけることができます。

◇ 操作

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら、⑤の鍵盤 (P. 13参照) を押し、鍵盤上の ー (off) / + (on) キーで、モード１ 、2 を切りかえます。

ー（off）　：モード 1
＋（on）　：モード 2

◇ MIDI（ミディ）とは？

MIDI（Musical Instrument Digital Interface）は、電子楽器やコンピューター機器などの間で、演奏情報等をやりとりするための統一規格です。
本機のMIDI端子は、IN, OUT の2種類があります。いずれも MIDI専用ケーブルで接続します。

IN　：　鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT　：　鍵盤情報や音色情報を送信します。

■外部機器などを使っての録音/再生
外部シーケンサーを MIDI 接続すると電子ピアノの演奏を録音し、それを再生することができます。また、電子ピアノの設定をマルチティンバーオン（P.17 参照）にして録音/再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラホンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。外部機器との接続は、5ページを参照ください。

◇ 本機MIDI機能

- 鍵盤情報の送信・受信
- 送信・受信チャンネルの設定
- プログラム（音色）ナンバーの送信
- ペダル情報の送信・受信
- ボリューム情報の受信
- マルチティンバーの設定
- エクスクルーシブデータの送信・受信

⑥ MIDI 送信・受信チャンネル

ＭＩＤＩの送信・受信チャンネルを設定します。

◇ 操作

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら
⑥の鍵盤（P.13 参照）を押し、次に１０キーでチャンネルを設定します。

＊入力は、必ず2桁で行います。 9チャンネルに設定する場合は、｢0｣｢9｣と入力します。
＊MIDI チャンネルは、1～16 の間で設定できます。
＊電源を入れたときは、1チャンネルに設定されます。

⑦ローカルコントロール

本体の鍵盤を弾いて本体の音を出すか、出さないかの設定をします。
オンのときは、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴り、MIDI も送信されます。
一方、オフの時は、鍵盤を弾いても本体の音は鳴らず、MIDI のみが送信されます。
いずれの場合も、MIDI 受信では本体の音は鳴ります。

◇ 操作

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら
⑦の鍵盤（P.13 参照）を押し、次にー（off）/ +（on）キーで設定します。

＊電源を入れた時は、オンに設定されます。

⑧マルチティンバー・モード

通常は、設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送受信しますが、マルチティンバー・モードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信し、その受信したプログラムナンバーに対応した異なる音色を同時に発音させせることができます。（受信したプログラムナンバーに対応した音色は下表の通りです。）
この機能により、外部のシーケンサーを使って、本機1台で複数の音色（マルチティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。（マルチティンバーモードオンの時、10chで受信したデータは発音しません。）

◇ 操作

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら⑧の鍵盤（P.13参照）を押し、次に－（off）/ +（on）キーで設定します。

＊電源を入れた時は、オフに設定されます。

◆音色に対応する送受信プログラムナンバー

音　色	送受信ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ・ﾅﾝﾊﾞｰ	
	ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰ ON時	ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰ OFF時
ピアノ1	1	1
ピアノ2	2	2
エレクトリックピアノ	5	3
チャーチオルガン	20	4
ハープシコード	7	5
ビブラホン	12	6
ストリングス	49	7
クワイア	53	8

⑨プログラム（ 音色)ナンバー

下記２つが設定できます。
・音色を切りかえたとき、プログラムナンバーを送信するかしないか(オン/オフ)の設定。
・好みのナンバー（1～128）の送信（外部MIDI音源の音色を変更できます)。

◇ 操作１

メトロノームボタンとコンサートマジックボタンを押しながら⑨の鍵盤（P.13参照）を押し、－（off）/ +（on）キーでプログラムナンバーの送信するしないを設定します。

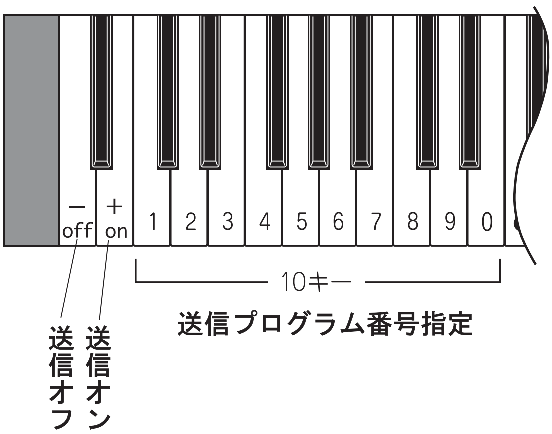
＊電源を入れた時は、オンに設定されます。

◇ 操作２

鍵盤上の１０キーを押すことでプログラムナンバーが送信されます。

＊ 001～128までの範囲で送信可能です。プログラムナンバーの入力は、3桁で行います。

＊例えば、プログラムナンバー1を入力する場合は、｢0｣｢0｣｢1｣と入力します。
＊ 3桁目が入力されると同時に、プログラムナンバーが送信されます。



付録

KAWAI [Digital Piano PE3]

MIDI IMPLEMENTATION CHART

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 ～ 16	1 1 ～ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	モード1 モード1,3 ×	＊ 電源ON時オムニ・オン。MIDIチャンネル設定操作によりオムニ・オフ
ノート ナンバー	音域	15 - 113 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	0 - 127 15 - 113	
ベロシティ	ノート．オン ノート．オフ	○ 9nH v=1-127 × 8nH v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ．ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	7 64 67	× ○（右ペダル） ○（左ペダル）**	○ ○ ○	ﾎﾞﾘｭｰﾑ ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾍﾟﾀﾞﾙ ｿﾌﾄ ﾍﾟﾀﾞﾙ ＊ *オプションペダル接続時
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○	○	（プログラムナンバー対応表 P.17参照）
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON／OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○*** ○*** ×	*** マルチティンバーモード ONの時
備 考				

モード１：オムニオン、ポリ　モード２：オムニオン、モノ　○：有り
モード３：オムニオフ、ポリ　モード４：オムニオフ、モノ　×：無し

本体の組み立てかた

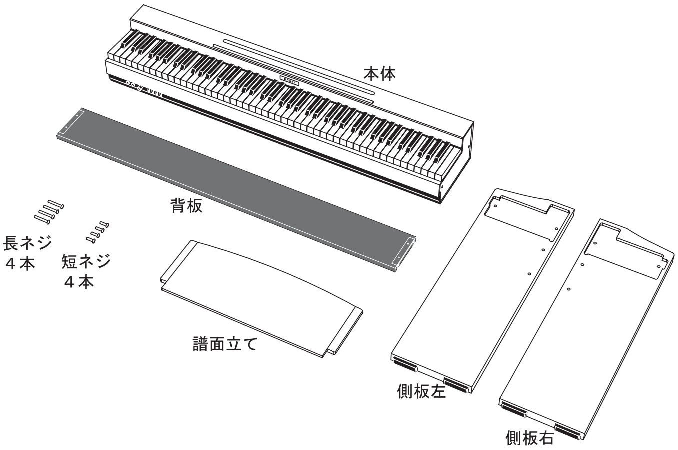
⚠ 注意
組立作業は、必ず２人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手を挟んだり、足の上に落とさないよう、十分に注意して下さい。

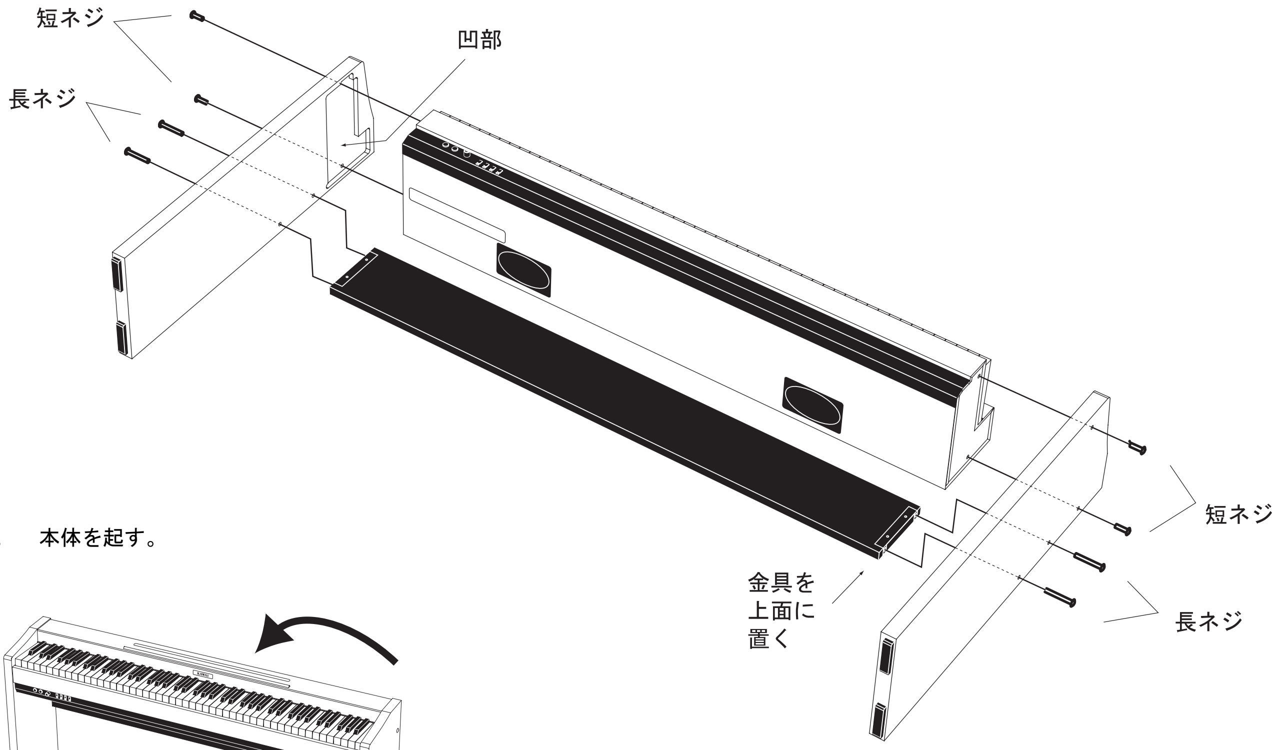
■組み立て手順

1．本体の背面を下にして置く。
2．左右の側板の背面を下にして、凹部を内側にして置く。
3．本体を左右の側板凹部にはめる。
4．短ネジで左右各２本をゆるめに取り付ける。
5．背板を図の向きに置く。
6．長ネジを左右各２本をしっかり取り付ける。
7．短ネジ４本をしっかり締める。

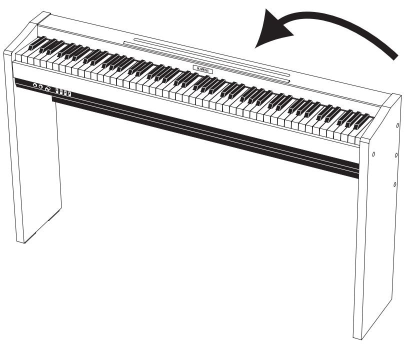
■部品の確認

組み立てる前に、部品がそろっていることを確認して下さい。
また、プラス・ドライバーをご用意ください。

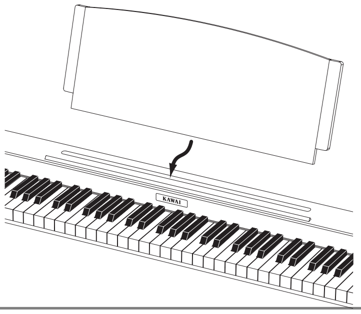




8．　本体を起す。



9．譜面立てを取り付けます。
　　本体上の溝に奥まで差し込んでください。



ネジを締める際

まず、手で軽く締めてスムーズに締まる事を確認してください。ネジがうまく締まらない場合は、側板を動かしてネジ穴の位置を調整してください。ネジ穴が合っていない状態で強引にネジを締めるとネジ受けを破壊する場合があります。

ガタツキがあるときは

全体を起こしてガタツキがあるときは、もう一度ネジを締め直します。

本機を移動する場合

ACアダプター、ケーブル類を本体からはずします。そして、水平に持ち上げ、手を挟んだり、足の上に落とさないように注意して運んでください。

分解する場合

組み立て手順1～９を逆の順序で分解してください。

主な仕様

■ 鍵　盤	88鍵/アドバンスト・ハンマー・アクションⅢ
■ 同時発音数	最大32音
■ 音　色	ピアノ１/２、エレクトリックピアノ、チャーチオルガン、ハープシコード、ビブラホン、ストリングス、クワイア　（音色デモ13曲内蔵）
■ エチュード	ブルクミューラー25の練習曲　全曲内蔵
■ コンサートマジック	5グループ全40曲内蔵
■ その他の機能	ボリューム、トランスポーズ、チューニング、デュアル、タッチ（軽い、普通、重い、固定）、リバーブ（ルーム，ステージ，ホール）
■ メトロノーム	1/4，2/4，3/4，4/4，5/4，6/8
■ ペダル	ダンパー、ソフト（オプションの2本ペダル F-2r 接続時）
■ 外部端子	ヘッドホン(2)、ペダル、MIDI（IN、OUT）
■ 出　力	7W×2
■ スピーカー	12 x 8cm(楕円)　×2
■ 定格電圧	AC100V、50/60Hz
■ 消費電力	25W
■ 寸　法	（W×D×H）129.1×26.8×77.2（cm）（譜面立て未装着時）
■ 重　量	27 Kg
■ 付属品	ACアダプター（PS-125D）/譜面立て/フットペダル（F-1M）/ファンクションシール/取扱説明書（本書）/保証書/本体の組み立て方/ご愛用者カード/アフターサービスと音楽教室のご案内/「コンサートマジック曲集」のご案内/「コンサートマジック曲集」払込取扱票（全て各1部）

KAWAI

電　子　楽　器　事　業　本　部
〒430-8665　静岡県浜松市寺島町200番地
TEL.<053>457-1277 / FAX.<053>457-1279
http://www.kawai.co.jp

KPSZ-0062
Printed in Indonesia